

2025年度 業績優秀者返還免除申請書

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

西曆 2026 年 1 月 〇〇 日

担当係への提出日を記入

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請に際しては、免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に関する同意書に同意します。

- ・（2023年度以降に博士（後期）課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生と国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」又は「国家戦略分野の若手課程学生の育成事業（BOOST）次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」の支免除が取り消されることを承知しています。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨学)太郎」のように、旧姓を()書きしてください。

フリガナ キコウ タロウ

氏名 機構 太郎

(押印不要)

大 学 院 名	九州大学大学院											
課 程 該 当 の 課 程 の 口 を ■ に し て く だ さ い	<input type="checkbox"/> 修士（博士前期）課程			<input type="checkbox"/> 専門職学位課程			<input checked="" type="checkbox"/> 博士（博士後期）課程					
研究科名・専攻名	○○学府 ○○専攻						学 習 番 号	3AB23001X				
奨 学 生 番 号	6	2	3	0	6	9	9	9	9	9	生 年 月 日	西暦 1988 年 4 月 5 日

□ 上記で選択した課程において、内定者として認定されている場合のみ、□を■にしてください。

大学院における研究課題等

専攻分野に関わらず必ず記入する必要があります。
概要は誤字脱字に注意して、8割以上記入。行末の文字の欠落がないように注意。

業績の種類

- (1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かれた資料番号を付記してください。
(「機関に提出」欄は学校の事務取扱担当者が使用します。)

(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入により、表の形式及び記入項目に変更がなければ、頁数が3頁以上になつても構いません。

業績の種類				資料番号	機構に提出	
学位論文その他研究論文	学位論文	必要項目：①申請者名 ②論文タイトル 例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」		資料番号は提出資料にも付すこと。提出資料の詳細は「手引き」を参照。		
		査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に○を記載してください。		
				必要項目：①申請者名(著者名、共著者名) ②論文タイトル ③発表年月 ④論文内容の概要 ⑤学術雑誌等名 ⑥学術雑誌発行年月		
				掲載済の場合の例：①機構太郎 ②「(論文タイトル)」③2025年X月 ④資料1-2参照 ⑤「令和7年度○○学会誌」、⑥2025年XX月		
		○		掲載予定の場合の例：①機構太郎、奖学花子他○名 ②「(論文タイトル)」③2026年3月 ④資料1-3参照 ⑤「令和8年度○○学会誌」、⑥2026年3月予定(2025年12月受理済)		
				必要項目：①申請者名(発表者名、共同発表者名) ②題目 ③会議名 ④発表年月 ⑤表彰、受賞等		
		学会での発表		例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和6年度○○学会定例会 ④2024年XX月 ⑤表彰、受賞なし		
				例：①機構太郎 ②「(題目)」③令和7年度○○学会定例会 ④2025年XX月 ⑤優秀ポスター賞		
日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退	必要項目：①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2025年 ③特別研究員採用				ここには奨学金辞退が伴わない「SPRING」「BOOST」などの採用実績を上げることはできません。上げる場合は項目6へ記入してください。	

※論文及び学会での発表により機関以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究助成」又は「学会への発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類			資料番号	機構に提出
2 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象 本学では、芸術工学府及び統合新領域学府の一部が対象。修士論文の代わりに提出する作品や課題などがこの項目に該当します。修士論文の代わりに作品や課題を提出する場合に記入。 必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修了制作「(タイトル)」			
3 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象 修士論文の代わりに試験や審査を行う場合のみ該当します。 必要項目：①申請者名 ②試験及び審査の結果 例：①機構太郎 ②修士課程修了試験合格証明書			
4 (専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	※「著書」に該当するか(学術論文との違い)に注意してください。 「データベース」は公表されているものに限ります。 必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年月 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2025年X月			
5 (専攻分野に関連した)発明	※特許・実用新案特許・発明等の場合に該当します。登録された発明者等が、指導教員や大学になっている場合は、あなたがそれに関わったことが分かる証明が必要になります。特許を出願し公開可能な場合(出願公開中)は、タイトル等を申請書に記載することに問題がないか、指導教員や大学に確認をとってください。 必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは登録日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX			
6 (専攻分野に関連した)授業科目の成績	成績証明書などを添付してください。 必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2024～2025年度	6-1		✓
7 (専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	※「研究・実験方法の改善・工夫への貢献」や「教育方法の改善・工夫への貢献」が評価の対象となります。同じ内容のTA等は複数回担当している場合も、提出資料は一つにまとめてください。 ※「業績7・10に係る証明様式」を作成することで資料に代えることができます。 必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名(担当学部) ③年月 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎I(○○学部)」でティーチング・アシスタントを担当 ③2025年XX月～2026年X月	7-1		✓
	例：①機構太郎 ②「(プロジェクト名)(○○学府)」においてリサーチ・アシスタントを担当。 ③2025年XX月～2026年X月	7-2		
8 (専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	※発表会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。 必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年月 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回○○コンテスト ③2025年X月 ④最優秀賞 順位(●●人中●位)など			
9 (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	※競技会等がどのような内容であるか、国際的レベル・国内的レベルであるか、どのような人を対象とするか、などについて記載してください。 必要項目：①申請者名 ②競技会名 ③年月 ④成績 例：①機構太郎 ②第N回全国○○競技大会 ③2025年X月 ④3位入賞 順位(●●人中●位)など			
10 (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	※ボランティア活動を行っていたことを、主催者等本人以外の第三者が証明または評価しているものが確認できない場合は業績として認められません。 ※活動名、活動期間を記入し、新聞記事等と自身の名前がわかるものを添付してください。 ※「業績7・10に係る証明様式」を作成することで資料に代えることができます。 必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年月 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2025年X月 例：①機構太郎 ②「○○市××事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2025年X月	10-1		✓